

あんしん設定

■ 暗証番号

FOMA 端末で利用する暗証番号	122
端末暗証番号を変更する	端末暗証番号変更 123
PINコードを設定する	PIN設定 123
PINロックを解除する	123

■ 携帯電話の操作や機能を制限する

ほかの人が使用できないようにする	ダイヤルロック／おまかせロック 123
電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする	シークレットモード／シークレット専用モード 125
各種データを表示できないようにする	シークレットフォルダ 127
個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする	オリジナルロック 128
ボタン操作を自動的にロックする	キー操作ロック 132
ICカード認証機能を利用する	ICカード認証設定 133
サイドボタンを操作できないようにする	サイドボタン設定 134
顔認証機能を利用する	顔認証設定 134

■ 発着信や送受信を制限する

メールを無断で表示できないようにする	BOXロック／フォルダロック 135
指定した電話番号の着信や発信を制限する	個別発着信動作選択 136
発信者番号のわからない電話を受けない	非通知着信設定 137
電話帳未登録の相手の着信音を無音にする	呼出時間表示設定 138
電話帳未登録の相手からの電話を受けない	登録外着信拒否 138
発信や着信ができないようにする	セルフモード 139
電話帳お預かりサービスを利用する	電話帳お預かりサービス 139
各種機能の設定を初期状態に戻す	設定リセット 142
FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻す	端末初期化 143
遠隔操作でデータを初期化する	遠隔初期化 144

■ その他の「あんしん設定」について

その他の「あんしん設定」について	144
------------------	-----

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA 端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、i モードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分け、FOMA 端末を活用してください。

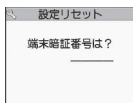
各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA 端末、FOMA カードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.123

端末暗証番号の入力画面が表示される場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、●【確定】を押しします。



- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「各種お申込・お手続き」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できません。


パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID / パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、i モードからは、お客様サポート内の「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。※「My docomo」[各種お申込・お手続き]については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

■ i モードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、i モードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「i モードパスワード」が必要になります（このほかにも各種情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

i モードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

i モードから変更される場合は、▶「i Menu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「i モードパスワード変更」から変更ができます。

■ PIN1コード・PIN2コード

FOMA カードには、PIN1 コード、PIN2 コードという2つの暗証番号を設定できます。

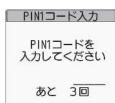
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.123

PIN1 コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA カードをFOMA 端末に差し込むたびに、またはFOMA 端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1 コード入力設定を「ON」にした場合、PIN1 コードを入力することにより、発信および端末操作が可能となります。

PIN2 コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

※新しくFOMA 端末を購入されて、現在ご利用中のFOMA カードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1 コード、PIN2 コードをご利用ください。

PIN1 コードまたはPIN2 コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1 コード / PIN2 コードを入力し、●【確定】を押しします。



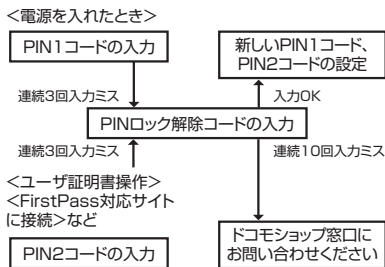
例：PIN1 コード

- 入力した PIN1 コード / PIN2 コードは「_」で表示されます。
- 3回誤った PIN1 コード / PIN2 コードを入力した場合は、PIN1 コード / PIN2 コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。正しいPIN1 コード / PIN2 コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

■ PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1 コード、PIN2 コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMA カードがロックされます。



端末暗証番号を変更する

(端末暗証番号変更)

- 1 **MENU ▶ 「設定／サービス」 ▶ 「ロック／セキュリティ」 ▶ 「端末暗証番号変更」 ▶ 現在の端末暗証番号を入力 ▶ 新しい4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」**

PINコードを設定する (PIN設定)

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを設定します。PIN1コード・PIN2コードについて→P.122

- PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はFOMAカードに記憶されます。
- PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

- 1 **MENU ▶ 「設定／サービス」 ▶ 「ロック／セキュリティ」 ▶ 「PIN設定」 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 以下の項目から選択**

PIN1コード変更……現在のPIN1コード(4～8桁)を入力後、新しいPIN1コードを2回(うち1回は確認のため)入力します。

PIN2コード変更……現在のPIN2コード(4～8桁)を入力後、新しいPIN2コードを2回(うち1回は確認のため)入力します。

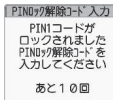
PIN1コード入力設定……電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうか(ON、OFF)を設定します。

PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 8桁のPINロック解除コードを入力



2 4～8桁の新しいPIN1コードを入力 ▶ 新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力

ほかの人が使用できないようにする (ダイヤルロック／おまかせロック)

ほかの人が使用できないようにロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う「ダイヤルロック」と遠隔操作で行う「おまかせロック」があります。




- ダイヤルロック、おまかせロックは電源を切っても解除されません。

●ダイヤルロック／おまかせロック設定中に利用できる操作や機能


機能	ダイヤルロック	おまかせロック
電源を入れる／切る	○	○
緊急通報番号(110番、119番、118番)に電話をかける	○	×
ダイヤルロックを設定／解除する	○	×
おまかせロックを設定／解除する	○	○
音声電話、テレビ電話の着信を受ける*	○	○
遠隔監視の着信を受ける*	○	○
電話帳お預かりサービスの更新を受ける	○	×
GPS機能の位置提供を行う(ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供サービスを利用した相手からの要求による位置提供)	○	○

○：利用できます。×：利用できません。



※：音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信することはできません。また、プッシュトークの着信を受けても着信動作は行われず、不在着信履歴として記憶されます。公共モード(ドライブモード)設定中は、着信を受けることができません。

- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されません。ダイヤルロック／おまかせロックを解除後、「 (未通知アラームあり)」「 (未視聴予約あり)」「 (予約録画終了あり)」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、デスクトップアイコンは表示されなくなります。ダイヤルロック／おまかせロック解除後、アイコンが再び表示されます。
- 電話帳に登録されている相手からの着信でもダイヤルロック／おまかせロック設定中は電話番号だけが表示されます。

ダイヤルロックを設定する

- 1  ▶「設定／サービス」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力▶「ダイヤルロック」

●ダイヤルロック設定中の動作について



- ディスプレイに「ダイヤルロック」と「」「」が表示されます。同時にICカードロックも「ON」となり、ICカード機能も利用できなくなります（ICカード認証機能でダイヤルロックの解除はできません）。
- ダイヤルロック設定中にメッセージ R / F、i モードメール、SMS、チャットメールの自動受信はできませんが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後、受信したことを示すアイコンが待受画面に表示されます。
 - ・エリアメールの自動受信と内容表示はできません。



ダイヤルロックを解除する


- ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできません。

1 ダイヤルロック設定中の画面で端末暗証番号を入力▶

ダイヤルロックが解除されて「」「」の表示が消えます。

■ ICカード認証機能で解除する場合→P.133

おしらせ

- ダイヤルロックを解除するとき、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。を押し、再度正しい端末暗証番号を入力してください。


おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時におまかせロックがかからない場合で1年以内に通信が可能になったときは、自動的にロックがかかります。ただし、回線解約・休止・改番・movvaへの契約変更を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合や、ドコモプレミアクラブ会員のお客様は無料になります。また、ケータイあんしんパックご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。

※おまかせロック中も「位置提供」の設定を「位置提供ON」にしていれば、GPS機能の位置提供要求に対応します。

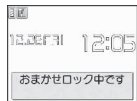
おまかせロックの設定／解除

 0120-524-360 受付時間24時間
※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

※おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

●おまかせロック設定中の動作について

- ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示します。
- おまかせロック設定中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカードを含む）を使用することができなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている氏名、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック設定中に受信したメールはiモードセンターに保管されます。エリアメールは破棄されます。
- 電源を入れる／切ることはできますが、電源を切ってもおまかせロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、予めご了承ください。



お知らせ

- ほかの機能が動作中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます（編集中のデータがある場合は編集中のデータを破棄して終了することがあります）。
- ほかのロック機能が設定中でも、おまかせロックをかけることができます。この場合、おまかせロックを解除すると、おまかせロック設定前のロック状態に戻ります（ただしシークレットモード/シークレット専用モードは解除されます）。
- 「**圏外**」やセルフモード中、電源を切っているときはロックがかかりません。その他お客様の利用方法などにより、ロックがかからない場合があります。
- 「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックがかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- おまかせロックを解除しようとしたときにFOMA端末が音声通話中またはテレビ電話中の場合は、通話終了後にロックが解除されます。

電話帳やスケジュールのデータを 表示できないようにする


（シークレットモード/シークレット専用モード）


シークレットモードまたはシークレット専用モードで電話帳やスケジュールを登録すると、シークレットデータになり、通常モードでは表示されなくなります。表示するときは、シークレットモード（シークレットデータも含めたとすべてのデータを表示）か、シークレット専用モード（シークレットデータのみを表示）にします。

- ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「i モーション」「受信メール」「送信メール」「Bookmark」の各データを、シークレットフォルダに保管することもできます。→P.127

シークレットモード/シークレット専用 モードにする

- 1 **MENU** ▶ 「設定/サービス」 ▶ 「ロック/セキュリティ」 ▶ 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」 ▶ 端末暗証番号を入力

シークレットモードに設定すると「」が表示されます。

シークレット専用モードに設定すると「」が点滅表示され、シークレットデータ登録件数が約2秒間表示されます。

ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.25

●シークレットデータの登録・表示と、通常のデータへの戻しかた

- FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。

■電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにして登録します。

電話帳の登録のしかた→P.84

スケジュールの登録のしかた→P.372

■登録済みの電話帳をシークレットデータにするには

電話帳詳細画面の機能メニューから「シークレット設定」を選択します。

※直デンに登録されている電話帳を、シークレットデータにすると、直デンから削除されます。

■シークレットデータを表示するには


シークレットモードまたはシークレット専用モードにし、電話帳やスケジュールを表示します。

電話帳の検索のしかた→P.88
スケジュールの確認のしかた→P.373


■シークレットデータを通常のデータに戻すには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにしてから、「電話帳詳細画面」(P.87)、「スケジュール一覧画面/詳細画面」(P.373)を表示し、機能メニューから「シークレット解除」を選択します。




シークレットモード/シークレット専用モードを解除する**① シークレットモード、シークレット専用モード中の待受画面で**

シークレットモード、シークレット専用モードが解除され、「」の表示が消えます。

他の機能が起動している場合は解除できません。

▶「設定/サービス」▶「ロック/セキュリティ」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」でも解除できます。

おしらせ

- シークレットモード中に、一覧画面でシークレットデータを反転したとき、またはシークレットデータを詳細表示したときは、点灯している「」が点滅に変わります。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにししないと、呼び出し、修正、削除、参照ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
- シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前や画像は表示されず電話番号が表示されます。また「着信履歴」にも電話番号のみが表示されます。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「着信履歴」に登録されている名前が表示されます。
- シークレットデータとして登録した相手がメールを送ってきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると、「受信結果画面」やデスクトップ上に「」「」は表示されず、メールの着信音も鳴りません。
- シークレットデータとして登録した相手からのメールは、本機能に関係なく「受信アドレス一覧」にメールアドレスは記憶されません。シークレット専用モードのときに通常のデータとして登録した相手からのメールは記憶されます。

おしらせ

- シークレットデータとして登録した相手からのメールは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると表示されません。また、シークレットデータとして登録した相手に送ったメールも同様です。
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
- 「ダイヤルロック/おまかせロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「ダイヤルロック/おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、「リダイヤル」や「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」は、誕生日お知らせを行いません。

各種データを表示できないようにする

(シークレットフォルダ)



ほかの人に見られたくない画像、動画／i モーション、受信メール、送信メール、Bookmarkの各データを、シークレットモードおよびシークレット専用モードでのみ表示されるシークレットフォルダに保管します。

- FOMA端末に保存されているデータのみ保管できます。
- 各フォルダ内のシークレットフォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

マイピクチャ	i モーション	受信メール
約100件 (約2Mバイト)	約10件 (約10Mバイト)	約100件 (約1.2Mバイト)
送信メール	i モードのBookmark	フルブラウザのBookmark
約100件 (約1.2Mバイト)	約10件 (約3Kバイト)	約10件 (約6Kバイト)

※1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。

<例：マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合>

- ① シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.125
- ② 画像一覧画面 (P.316) ▶ で画像の囲み枠を移動▶ 【機能】▶「シークレットに保管」

おしらせ

- シークレットフォルダはFOMA端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。

<受信メール><送信メール>

- シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード/シークレット専用モード中でも、チャット画面には表示されません。
- シークレットフォルダに保管されているSMSの送達通知を受信した場合、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと選択できるようになります。

おしらせ

<デスクトップアイコン>

- デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、i モーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。
- デスクトップアイコンとして貼り付けたBookmark、受信メール、送信メールをシークレットフォルダに保管しても、デスクトップアイコンを選択したときは通常の動作となります。

●シークレットフォルダの機能メニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、行える機能は制限されています。フォルダ一覧画面、データ一覧画面、データ詳細画面の各画面で操作できる機能は以下のとおりです。「シークレットから出す」については「シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す」(P.128)をご覧ください。

■フォルダ一覧画面でシークレットフォルダが反転しているときの機能メニュー

マイピクチャ (P.348)	i モーション (P.348)
フォルダ追加 赤外線全送信*1 画像全削除*1 保存容量確認	フォルダ追加 赤外線全送信*1 動画全削除*1 保存容量確認
受信メール/送信メール (P.168)	Bookmark (P.193)
フォルダ追加 保存件数確認*1 フォルダ内表示 i C全送信*1 赤外線全送信*1 microSDへ全コピー*1 既読メール全削除*1*2 受信メール全削除*1*3	フォルダ追加 登録件数確認*1 i C全送信*1 赤外線全送信*1 microSDへ全コピー*1 Bookmark全削除*1

※1：シークレットフォルダ内のデータは対象となりません。

※2：受信メールフォルダ一覧画面のみ利用できます。

※3：送信メールフォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。

■データ一覧画面の機能メニュー

マイピクチャ (P.319)	i モーション (P.325)
イメージ表示 イメージ情報 保存容量確認 タイトル名一覧※1 削除 シークレットから出す	i モーション情報 保存容量確認 一覧表示切替 削除 シークレットから出す
受信メール/送信メール (P.170)	Bookmark (P.194)
色分け 一覧表示切替 保護※2 保護解除※2 保護/保護解除※3 全保護解除※3 メール情報※2 保存件数確認 削除 シークレットから出す	登録件数確認 削除 シークレットから出す

※1：タイトル名一覧のときは「ピクチャー覧」になります。

※2：受信メール一覧画面のみ利用できます。

※3：送信メール一覧画面のみ利用できます。

■データ詳細表示画面の機能メニュー

マイピクチャ (P.319)	i モーション (P.268)
イメージ情報 画像表示設定 全画面モード※1 リトライ 1件削除 アイコン常時表示設定	動作設定 再生メニュー 詳細情報 ファイル選択 ヘルプ
受信メール/送信メール (P.171)	
保護/保護解除 クイック検索※2 スクロール設定 文字サイズ設定 削除 シークレットから出す	

※1：全画面モードのときは「通常モード」になります。

※2：受信メール詳細画面のみで利用できます。

シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す

シークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。

<例>マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合>

① シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.125

② フォルダー一覧画面(P.316)▶「シークレット」▶▶で画像に囲み枠を移動▶ [機能] ▶「シークレットから出す」

③ 保存するフォルダを選択

おしらせ

- シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻りますので、日付の古いメールは他のメールを受信時/送信時などに削除される場合があります。メールを保護状態にしてからシークレットフォルダから出すことをおすすめします。

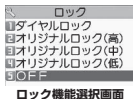
個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする (オリジナルロック)

メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。また、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信を制限したり、i モードメールやSMSの送信を制限します。

- ロック対象の機能やデータはオリジナルロック(高)、(中)、(低)に個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けすることができます。
- ロックは電源を切っても解除されません。
- オリジナルロックの対象となる機能や項目、データは別表1(P.130)のとおりです。各グループごと、項目ごとにロック対象とするかどうかを設定(カスタマイズ)できます。→P.129

オリジナルロックを有効にする

1 MENU ▶ 「設定／サービス」 ▶ 「ロック／セキュリティ」 ▶ 「ロック」 ▶ 端末暗証番号を入力



2 オリジナルロック(高)～(低)を選択

ロックが有効になり、ロック対象の機能やデータにロックがかかります。

画面には「」が表示されます。

ほかのロック機能が同時に設定されているとき
のアイコンの表示について→P.25

■ ロックする機能やデータをカスタマイズする場合→P.129

■ タイトルを編集する場合

▶ オリジナルロック(高)～(低)を反転▶[機能] ▶ 「タイトル編集」▶ タイトルを入力

■ オリジナルロックを解除する場合
▶ 「OFF」

● オリジナルロック設定中の操作について

オリジナルロック設定中にロック対象の機能やデータを利用しようとすると、端末暗証番号の入力が求められます。

● 端末暗証番号を入力すると一時的にロックが無効になり、ロック対象の機能やデータを利用できるようになります。「発信・メール送信」と「着信・メール受信表示」の機能は一時的解除して利用することはできません。起動中の機能を終了して待受画面に戻ると、再度ロックが有効になります。

<例：オリジナルロック設定中に i モードメールを閲覧する場合>

1 待受画面表示中▶

2 端末暗証番号を入力

オリジナルロックが一時的に解除され、メールメニューが表示されます。

3 i モードメールを読む

4 メールメニューを終了し、待受画面に戻る

オリジナルロックが有効になり、画面に「」が表示されます。

ロックする機能やデータをカスタマイズする

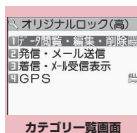
●たとえば「電話帳だけをロックする」「電話とメール発信だけを制限したい」といった設定をオリジナルロック(高)～(低)に個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けすることができます。

●ロック対象の設定(カスタマイズ)は、別表1(P.130)のようにカテゴリ、グループ、機能ごとに行います。

●ロック対象の設定(カスタマイズ)内容は、オリジナルロックの有効/無効を切り替えても保持されます。

1 ロック機能選択画面(P.129)▶オリジナルロック(高)～(低)を反転▶[詳細]

カテゴリ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「 ALL」が付いて表示されます。

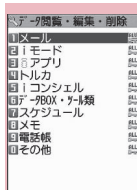


カテゴリ一覧画面

機能メニュー▶P.132

2 設定変更したいカテゴリを選択

グループ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「 ALL」が付いて表示されます。



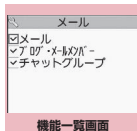
グループ一覧画面

機能メニュー▶P.132

3 設定変更したいグループを選択

4 で (チェックボックス) を選択▶ [完了]

チェックを付けた(☑)にした項目が、ロック対象となります。ロック対象外にしたい項目はチェックを外します。








機能一覧画面


機能メニュー▶P.132

5 [完了]▶ [完了]▶ 【確定】

カテゴリによっては [完了] を押す回数異なります。

【別表1】オリジナルロックの対象となる機能やデータについて

グループ	機能	ロック中の動作/注意事項
データ閲覧・編集・削除		
メール	メール	メールの起動をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • エリアメールの内容表示はできません。 • FOMA端末を折り畳んだ状態で  を押してもメール本文の読み上げはできません。
	ブログ・メールメンバー チャットグループ	各機能の起動をロックします。
i モード	i モード	i モード機能 (i モードやフルブラウザ、i チャンネルなど) の起動をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • クイック検索の利用はできません。
	Bookmark	ブックマーク機能 (i モード、フルブラウザ) の起動をロックします。
i アプリ	i アプリ	i アプリ機能の起動、ICカード一覧の表示、i ウィジェット画面の表示をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • ICカード機能はロックされません。 • i アプリ待受画面を設定していると、ロック中は i アプリ待受画面は表示されません。
トルカ	トルカ	トルカフォルダー一覧画面の表示をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • ロック中でも読み取り機からトルカを取得できます。
i コンシェル	i コンシェル	i コンシェルの起動をロックします。
データBOX・ ツール類	マイピクチャ ミュージック i モーション メロディ ワンセグ録画データ きせかえツール マチキャラ マイドキュメント PC動画 マンガ・ブックリーダー キャラ電 ドキュメントビューア おしゃべり機能	各機能の起動をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • ほかの機能からもデータ呼び出せません。 • ロック対象となるデータを着信音や着信画面などに設定していると、ロック中はお買い上げ時の設定で動作します (待受画面に設定している画像や i モーションは、ロック中も待受画面に表示されます)。 • 「マイピクチャ」または「キャラ電」がロック対象になっている場合、ロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。 • 「マチキャラ」がロック対象になっている場合でも待受画面のマチキャラは表示されます。
	Music&Videoチャンネル カメラ バーコードリーダー テキストリーダー	各機能の起動をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • ロック中でもMusic&Videoチャンネルの番組はダウンロードします。
スケジュール	スケジュール アラーム To Doリスト	各機能の起動をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • ロック中はアラーム通知を行わず「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが表示されます。
メモ	音声メモの再生/消去 動画メモの再生/消去	各機能の起動をロックします (伝言メモを設定することはできません)。 <ul style="list-style-type: none"> • どちらかの機能をロックしていると、FOMA端末を閉じた状態で   を押しても、「伝言メモあり」などの確認はできません。
	待受中音声メモ 通話中音声メモ	各機能の起動をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • 音声メモの再生/消去はロックされません (「メモの再生/消去」にロックを設定してください)。
電話帳	電話帳/直デン	電話帳やプッシュトーク電話帳、直デンの起動をロックします (電話帳参照などあらゆる機能に影響があります)。 <ul style="list-style-type: none"> • ロック中は発着信履歴やメール一覧画面などでも、登録されている名前は表示されません。電話番号やメールアドレスが表示されます。 • 「着もじ」の「メッセージ表示設定」が「電話帳登録番号のみ」に設定されていると、着もじは表示されません。 • 「登録外着信拒否」と同時に設定することはできません。 • 「指定着信拒否」「指定着信許可」「指定転送でんわ」「指定留守番電話」の設定は無効になります。 • ロック中はFOMA端末を閉じた状態で   を押しても、不在着信や新着メールなどの発信者名の読み上げはできません。

グループ	機能	ロック中の動作/注意事項
電話帳	マイプロフィール	マイプロフィールの起動をロックします。
	発信履歴	「発信履歴」「リダイヤル」「送信アドレス一覧」の起動をロックします。
	着信履歴	「着信履歴」「受信アドレス一覧」の起動をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • ロック中はFOMA端末を閉じた状態で  を押ししても不在着信の確認はできません。
その他	テキストメモ	テキストメモの起動をロックします。
	通話料金通知	設定した上限料金を超えても待受画面やアラームなどで通知を行いません。 <ul style="list-style-type: none"> • ロックを解除すると、「通話料金通知」のデスクトップアイコンが表示されます。
	着もじ	着もじの編集や設定、着もじ送信時の「メッセージ選択」「送信メッセージ履歴」の機能をロックし、着もじは表示されません。 <ul style="list-style-type: none"> • 着もじを送信したり受信することはできます。
発信・メール送信		
ダイヤル発信	ダイヤル発信	電話番号の直接ダイヤルによる発信および電話帳未登録の相手へのリダイヤル/発信履歴/着信履歴からの発信をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（FOMAカード、microSDカード含む）。 • 緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。
メール送信	メールアドレス直接入力	宛先の直接入力による i モードメールやSMSの送信をロックします（電話帳に登録されていない相手へのリダイヤル/発信履歴/送信アドレス一覧/着信履歴/受信アドレス一覧からのメールやSMSの作成を禁止します）。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（FOMAカード、microSDカード含む）。 • 「自分」を除くチャットメンバーはすべて削除されます。 • 保存BOX内のメールは宛先が削除され、さらに本文のないメールはメール自体が削除されます。
	メール送信	i モードメール、SMSの送信、チャットメールの起動をロックします。
着信・メール受信表示		
着信		電話やプッシュトーク、パケット通信の着信を拒否します（不在着信履歴として記憶されます）。 <ul style="list-style-type: none"> • ロックを解除すると「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。
メール/メッセージ受信表示		メッセージR/F、i モードメール、チャットメール、SMS、i コンシエルのインフォメーションの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面は表示されません。着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。 <ul style="list-style-type: none"> • エリアメールの自動受信と内容表示はできません。 • ロックを解除すると「新着メールあり」などのデスクトップアイコンが表示されます。 • チャットメールの起動をロックします。
GPS		
GPS		GPS機能の起動をロックします。 <ul style="list-style-type: none"> • ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供サービスを利用した相手からの要求による位置提供はできません。

※ ロック対象となるデータを「デスクトップアイコン」として待受画面に貼り付けている場合、ロック中はそのデスクトップアイコンは表示されません。

機能

カテゴリー一覧画面 (P.129) / グループ一覧画面 (P.129)

グループ選択、グループ解除、全グループ選択、全グループ解除……いずれかの項目を選択し実行します。

機能

機能一覧画面 (P.129)


全選択、全選択解除……いずれかの項目を選択し実行します。

ボタン操作を自動的にロックする (キー操作ロック)

FOMA端末を閉じたときや、電源を切ったとき、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけます。

- キー操作ロック時に、着信イルミネーションが青色で点滅します。
- キー操作ロックは電源を切っても解除されません。
- 「クローズ時」「タイマー」のどちらかを「ON」にすると、電源を切ったときにキー操作ロックがかかります。

キー操作ロックを設定する



- 1  「設定／サービス」▶「ロック／セキュリティ」▶「キー操作ロック」▶「端末暗証番号を入力」▶以下の項目から選択

クローズ時……FOMA端末を閉じたときに自動的にロックをかけるかかけないか (ON、OFF) を設定します。

タイマー……「OFF、1分後ON、5分後ON、15分後ON、30分後ON」から選択します。
たとえば、「5分後ON」に設定すると、FOMA端末を何も操作しない状態が5分間続くと、自動的にロックがかかります。「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、ロックはかかりません。

- 2  【完了】

●キー操作ロック中の動作について

- キー操作ロック中はディスプレイに「」と「キー操作ロック」が表示されます。
- キー操作ロック中は、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信に対する応答、電源を入れる／切る、ICカード認証機能の利用、顔認証機能によるキー操作ロック解除、サイドボタンによるイルミネーション・ウィンドウ表示の操作を除くすべてのボタン操作ができなくなります。
- キー操作ロック中にメッセージR/F、iモードメール、SMS、チャットメールの着信動作は行われますが、内容の閲覧やメール読み上げ機能の利用はできません。
 - エリアメールの自動受信と内容表示はできません。
 - iコンシエルのインフォメーションを受信したときはポップアップメッセージが表示されますが選択はできません。
- キー操作ロック中でも、「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されます。
- 電話着信時やアラーム通知時など、キー操作ロック中でも操作可能な場合はファンクション表示の下に「」が表示されます。



おしらせ

- キー操作ロック中でも、緊急通報番号 (110番、119番、118番) には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
- 通話中、メロディ／i モーション／ミュージックの再生中、カメラ起動中などロックがかからない場合もあります。

キー操作ロックを一時解除する

- 1 キー操作ロック中の画面で「端末暗証番号を入力」▶

- 顔認証機能を利用して一時解除する場合
→P.135
- ICカード認証機能を利用して一時解除する場合
→P.133

ICカード認証機能を利用する

(ICカード認証設定)

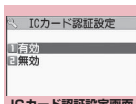
FeliCa に対応した非接触ICカード（外部ICカード）を重ね合わせるだけで、ダイヤルロックやキー操作ロックを解除したり、端末暗証番号の入力が必要な画面で、暗証番号を入力せずにユーザ認証ができるようにします。

- ICカードロック設定中でも、ICカード認証機能を利用することができます。
- 非接触ICカードを2枚まで登録できます。

ICカード認証機能を有効にする

非接触ICカードを登録してユーザ認証ができるように設定します。

- 1 MENU ▶ 「設定／サービス」 ▶ 「ロック／セキュリティ」 ▶ 「ICカード認証設定」 ▶ 端末暗証番号を入力



機能メニュー▶P.133

- 2 「有効」 ▶ 「OK」


■ 登録済みの非接触ICカードを有効にする場合
▶ 「有効」

■ ICカード認証機能を無効にする場合

▶ 「無効」 ▶ 「YES」または「NO」

登録されている非接触ICカードのデータをすべて削除する場合は「YES」を、削除しない場合は「NO」を選択します。

- 3 非接触ICカードをFOMA端末のマークに重ね合わせる

登録されると「」が消えます。

機能 ICカード認証設定画面(P.133)



外部ICカード登録……非接触ICカードのデータを2枚まで登録できます。2枚登録済みの場合は、古いデータを削除して登録します。

外部ICカード削除……非接触ICカードのデータを削除します。


ICカード認証機能を利用する

＜例＞ダイヤルロック、キー操作ロックを解除する場合＞

- 1 **ダイヤルロック設定中、キー操作ロック中にFOMA端末を開く**

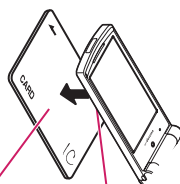
ディスプレイに「」が表示されて約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。待受画面表示中に「」を押しても同じ状態になります。

■ FOMA端末を閉じたまま解除したいとき

▶  [マナー] (1秒以上) を押すと約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。

- 2 **非接触ICカードをFOMA端末のマークに重ね合わせる**

ユーザ認証が正しく行われるとロックが解除されます。




非接触ICカード

非接触ICカードとFOMA端末を手に持ち、FOMA端末背面のマークを重ね合わせる

※ イラストのように重ね合わせてください。ICカードによっては認識しにくい場合があります。その場合は上下左右にずらしてください。

■ 端末暗証番号入力時に利用する場合

端末暗証番号の入力画面が表示されると「」が表示され、約10秒間ユーザ認証が可能な状態になります。その間に本機能で登録した非接触ICカードをFOMA端末のマークに重ね合わせるとユーザ認証が行われます。

おしらせ

- FeliCa に対応した非接触カードでも、カードによっては本機能を利用できない場合があります。
- ICカード認証機能を利用するときは、非接触ICカードとFOMA端末を手に持って行ってください。
- 認証に5回連続して失敗するとICカード認証機能は使用できなくなり、認証は端末暗証番号のみになります。その後、端末暗証番号による認証が正常に行われた場合は、再度ICカード認証機能を利用できるようになります。

サイドボタンを操作できないようにする

(サイドボタン設定)

FOMA端末を閉じたときに、サイドボタン (F, A [マナー]、D [カメラ]) の機能を無効にします。

- 以下のような場合などは、本機能の設定にかかわらずサイドボタンの機能は有効になります。
 - ・ FOMA端末を開いているとき
 - ・ 平型スイッチ付イヤホンマイク (別売) などを接続しているとき
 - ・ プッシュトーク利用中

1 MENU ▶ * (1秒以上)

サイドボタンの操作が無効 (閉じた時無効) になり「閉」が表示されます。

- 閉じた時有効にする場合
 - ▶ 操作1を再度行う
- 「閉」の表示が消えます。



顔認証機能を利用する (顔認証設定)

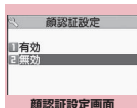
以下の機能の起動時/解除時の本人確認のために顔の画像撮影と、認証が失敗した場合のキーワードとして画像名を登録します。

- キー操作ロック解除時
- ICカードロック解除時
- 設定リセット起動時
- 端末初期化起動時
- 顔認証設定起動時
- 内側カメラのレンズが汚れていたりすると誤作動の原因になります。柔らかい布で汚れを取り除いてからご使用ください。
- 顔の状態によって認識率が低下することがありますが、次の対処方法で改善される場合があります。

認識率が低下する条件	対処方法
光が強く当たったり、暗い場所の電灯下など、顔の明るい部分と暗い部分の差が大きいです	顔に当たる光が一定になるように、均一な明るさになるような場所に移動してください。
顔に光が当たり顔全体が白くなる	
髪やめがね、マスクなどにより顔の特徴 (目・鼻・口・眉など) がはっきり見えません	目・鼻・口・眉がはっきり見えるように髪をあげたり、めがねやマスクなどを取ってください。

- 顔認証技術は完全な本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、または本機能の誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 MENU ▶ 「設定/サービス」▶ 「ロック/セキュリティ」▶ 「顔認証設定」▶ 端末暗証番号を入力



機能メニュー ▶ P.135

2 「有効」▶ 「OK」

「画像登録画面」が表示されます。注意点が表示されるので事前によくお読みください。

- 登録済みの画像を有効にする場合
 - ▶ 「有効」
- 無効にする場合
 - ▶ 「無効」▶ 「YES」または「NO」

3 ガイド枠に目の位置を合わせる▶ ● [撮影] ▶ ● [保存]

撮影は3回行われ1回撮影することに保存します。

保存が完了しなかったり、撮影を途中で終了したり、3枚未済の状態でも撮影を終了した場合は、すでに保存されている画像は削除されて画像未登録の状態となります。3枚の画像の保存が完了すると「画像名編集画面」が表示されます。



画像登録画面

- 途中で撮影を中止する場合
 - ▶ [CLR] ▶ 「YES」

4 画像名を入力▶ 「YES」

入力した画像名が認証失敗時のキーワードとなります。

画像名は全角で2~8文字、半角で4~16文字の範囲で入力します。

- 画像名を変更する場合
 - ▶ 「NO」または画像名を選択

5 ④で☐ (チェックボックス) を選択▶ [完了]

チェックを付けた (☑にした) 項目が、顔認証機能を利用できる対象となります。対象外にしたい項目はチェックを外します。

機能 顔認証設定画面 (P.134)

画像登録

画像名編集

画像削除

解除機能選択……顔認証機能でロック解除する機能を選択します。

おしらせ

●登録した画像名は、認証失敗時に必要になりますので、メモを取るなど忘れないようにしてください。また、画像名はわかりやすい文字の組み合わせは避け、ほかの人に知られないようにご注意ください。

● 顔認証機能でキー操作ロックを一時解除する

「顔認証設定」で画像を登録し、「解除機能選択」で「キー操作ロック」を選択している場合は、ロック解除時に本人確認のために顔データの読取認証が行われます。

- 顔データの読取認証ができないときは、「顔認証設定」でキーワードとして登録した画像名を入力すれば解除できます。
- 顔認証機能でICカードロックを解除するには→P.294

① 待受画面表示中 ▶  【 顔認証】

② 正面を向いて顔全体が画面に写るよう
に合わせる




- 顔データの読取認証が失敗した場合
- ▶ 画像名を入力 ▶ 「OK」






③ 端末暗証番号を入力
キー操作ロックが一時解除されます。

メールを無断で表示できないようにする (BOXロック/フォルダロック)


ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOX、送受信BOXやそれぞれのフォルダにロックをかけます。ロックをかけたBOXやフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

- 端末暗証番号を入力するとメールのタスクを終了させるまで有効ですので、その間はロックがかかっている端末暗証番号を入力せずに開くことができます。
- ロックをかけたBOXには、「」などのアイコンが表示されます。
- ロックをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「」「」などの表示になります。
- BOXやフォルダにロックを設定すると、ロック対象のメールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOX別にロックを設定する

- ①  ▶ 「メール設定」 ▶ 「BOXロック」 ▶ 端末暗証番号を入力
- ②  で (チェックボックス) を選択
- ③  【完了】

フォルダ別にロックを設定する

- ① メールフォルダ一覧画面 (P.164、165) ▶ ロックを設定するフォルダを反転 ▶  [機能] ▶ 「フォルダロック」 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」
 - 解除する場合
 - ▶ 操作1を再度行う

指定した電話番号の着信や発信を制限する

(個別発信行動作選択)

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。

- 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
- FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
- 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、個別発信行動作選択の各機能は解除されます(ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除ができません)。
- 「指定発信制限」「指定着信拒否」「指定着信許可」の設定は、プッシュトーク電話帳にも反映されます。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

① 電話帳詳細画面 (P.87) ▶ 【機能】 ▶ 「個別発信行動作選択」 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 以下の項目から選択

指定発信制限……指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。指定した電話番号に電話をかけるときは、電話帳から発信します。

指定着信拒否……指定した電話番号からの電話を受けないようにします。

指定着信許可……指定した電話番号からの電話だけをかけるようにします。

指定転送でんわ……指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始、停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。



指定留守番電話……指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始、停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

設定した機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合

▶ 「★」が付いている機能を選択
機能が解除されて「★」が消えます。

■ 複数の電話番号に設定したい場合

▶  を2回押して電話帳一覧画面に戻る ▶ 目的の電話帳を選択 ▶ 操作1を行う
指定発信制限を設定した後に  を押して待受画面に戻ると、個別発信行動作選択が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

● 指定発信制限を設定すると


- 指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末(本体)とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード(UIM)操作」での電話帳の操作もできません。
- 設定前に記録されていたリダイヤル/発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル/発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。

おしらせ

<指定発信制限>

- 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には電話をかけることができます。

<指定着信拒否><指定着信許可>


- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。

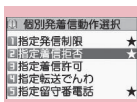
おしらせ

<指定転送でんわ><指定留守番電話>

- 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

個別発着信動作選択の設定状況を確認する

- ① 電話帳一覧画面 (P.87) ▶  [機能] ▶ 「個別発着信動作選択」 ▶ 端末暗証番号を入力



機能メニュー ▶ P.137

機能

個別発着信動作選択画面 (P.137)


設定確認……機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

設定解除……機能が解除されて「★」が消えます。

発信者番号のわからない電話を受けない

(非通知着信設定)

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信許可/拒否を、非通知理由ごと設定します。

- ①  ▶ 「設定/サービス」▶ 「ロック/セキュリティ」▶ 「非通知着信設定」▶ 端末暗証番号を入力▶ 以下の項目から選択

通知不可能……海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。
経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。

公衆電話……公衆電話などから発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

非通知設定……発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

- ② 「許可」または「拒否」

■「許可」を選択した場合

- ▶ 「着信音」または「着信画像」
- ▶ 「着信音」は「通常着信音と同じ、メロディ、i モーション、ミュージック、おしゃべり、ランダムメロディ、OFF」から選択します（「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します）。
- ▶ 「着信画像」は「通常着信画像と同じ、マイピクチャ、i モーション」から選択します（「通常着信画像と同じ」を選択したときは、「画面表示設定」の「電話着信」の設定で着信します）。

■「拒否」を選択した場合

着信を拒否し、相手に話中音が流れます。

おしらせ

- 本機能で選択する着信音や着信画像は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」や「画面表示設定」の「テレビ電話着信」と同じになります。非通知のプッシュトークを着信したときは、「着信音選択」の「プッシュトーク」と同じになります。

おしらせ

- 「拒否」に設定しているときに非通知の電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「**圏外**」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

(呼出時間表示設定)

FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号から音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します（無音時間設定）。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

- 非通知の音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合や音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中に着信があった場合にも無音時間設定は動作します。
- 「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されている場合は、「無音時間設定」を設定できません。

1 MENU ▶ 「設定／サービス」 ▶ 「着信」 ▶ 「呼出時間表示設定」 ▶ 以下の項目から選択

無音時間設定

ON……呼出動作を開始するまでの時間（01～99秒）を入力します。

OFF……呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。

時間内不在着信表示……呼出動作を開始しなかった着信の不在着信履歴やデスクトップアイコンを表示するかしないかを設定します。

おしらせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、「無音時間設定」を0秒として電話番号のみを表示します。
- 無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

(登録外着信拒否)

FOMA端末（本体）およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するか許可するかを設定します。

- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、「登録外着信拒否」を設定できません。

1 MENU ▶ 「設定／サービス」 ▶ 「ロック／セキュリティ」 ▶ 「登録外着信拒否」 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 「拒否」または「許可」

おしらせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能の設定にかかわらず、着信は拒否されません。
- 本機能を「拒否」に設定している場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときや「**圏外**」時、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

発信や着信ができないようにする (セルフモード)

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信、iモードの利用、メールの送受信ができないように設定します。音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

●セルフモード設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

1 MENU ▶ 「設定／サービス」 ▶ 「ロック／セキュリティ」 ▶ 「セルフモード」 ▶ 「YES」

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■セルフモードを解除する場合

▶再度操作1を行う

セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

●セルフモードを設定すると

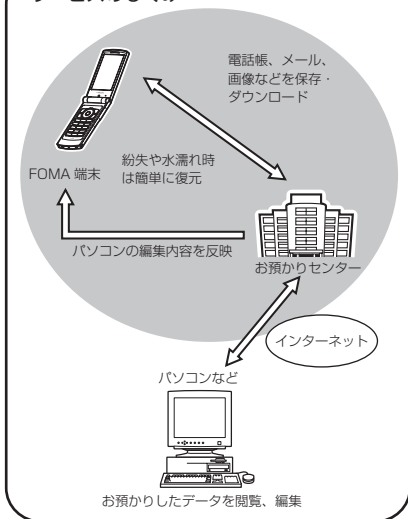
- 音声電話やテレビ電話の着信は着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されません。
- 送られてきたメッセージR/Fやiモードメールはiモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。
- 音声電話やテレビ電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスやメッセージで通知します。「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。
- プッシュトークの着信があった場合は、メンバーに「不参加」として伝わります。
- 赤外線通信機能／iC通信機能によるデータの送受信、パソコンなどと接続してのポケット通信、64Kデータ通信、ICカード認証機能によるユーザ認証、Bluetooth通信もできません。ただし、USBケーブル接続によるデータ転送(OBEX™通信)や、おサイフケータイ対応iアプリを利用してICカード内のデータの読み書きはできます。

電話帳お預かりサービスを利用する (電話帳お預かりサービス)

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール・トルカ※・スケジュール※(以下「保存データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。一斉通知メール送信時のポケット通信料はかかりません。パソコン(My docomo)があれば、さらに便利にご利用いただけます。

※：トルカとスケジュールを預けるにはiコンシェルのご契約が必要です(2008年12月現在)。
電話帳お預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)]をご覧ください。
電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです(お申し込みにはiモード契約が必要です)。

サービスのしくみ



● 電話帳データをお預かりセンターに保存 (更新/復元) する

FOMA端末 (本体) の電話帳をドコモのお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続して、FOMA端末に更新/復元することができます。

- サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとする、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- i モードサービスエリア圏外・電源 OFF 時などでは利用できません。

● 電話帳データを更新する

1 MENU ▶ 「LifeKit」▶ 「電話帳お預かりサービス」▶ 「お預かりセンターに接続」

- 電話帳内の画像送信について設定する場合▶ 「電話帳内画像送信設定」▶ 「する」


電話帳に登録されている画像もお預かりセンターに保存されます。

2 端末暗証番号を入力▶ 「YES」

お預かりセンターに接続して電話帳の保存を開始します。

3 完了

お知らせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 電話帳の更新ができなかった場合、「」のデスクトップアイコンでお知らせします。
- FOMAカードに登録されている電話帳はお預かりセンターに保存できません。
- 100Kバイトを超える画像が登録されている電話帳は、保存・更新することはできませんのでご注意ください。




● 電話帳データを保存 (更新/復元) する

- 電話帳の復元や自動更新設定などは、以下の手順から行えます。

▶ 「i Menu」▶ 「マイメニュー」▶ 「電話帳お預かり」*

※：i コンシェルをご契約の場合は、「お預かり/i コンシェル」と表示されます。

お知らせ

- お預かりセンターに預けている電話帳データをFOMA端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンが「」や「」に置き換わることがあります。
- FOMA端末の電話帳を削除すると、電話帳の更新時にお預かりセンターの電話帳も同様に削除されますのでご注意ください。お預かりセンターの電話帳をFOMA端末の電話帳にダウンロードする場合は、以下の手順で復元を行ってください。
▶ 「i Menu」▶ 「マイメニュー」▶ 「電話帳お預かり」*1▶ 「お預かりセンター」*2▶ i モードパスワードを入力▶ 「決定」▶ 「ケータイへダウンロード」▶ 「OK」
※1：i コンシェルをご契約の場合は、「お預かり/i コンシェル」と表示されます。
※2：i コンシェルをご契約の場合は、「お預かりデータ確認」と表示されます。
約15秒後にダウンロードが開始されますので、待受画面に戻してください。
- 電話帳の電話番号2以降のデータ、メールアドレス2以降のデータ、位置情報、およびブッシュトーク電話帳の電話番号、グループ名 (番号) を削除された場合、削除内容がお預かりセンターへ反映されません。なお、電話帳の電話番号2以降およびメールアドレス2以降のデータについては、パソコン (My docomo) のお預かりセンターから該当データを削除いただくことで反映されます。
- 電話帳1件丸ごとの削除はお預かりセンターへ反映されます。

●お預かりセンターとの通信履歴を確認する

- 通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 通信履歴詳細画面では通信結果、日付、通信内容、通信データサイズ、お預かりセンターへの送信結果、携帯電話の受信結果、i コンシェル電話帳更新、お預かりセンター残件数が表示されます。

1 MENU ▶ 「LifeKit」 ▶ 「電話帳お預りサービス」 ▶ 「通信履歴表示」

通信履歴	
2008/12/26 12:05:35	
2008/12/26 10:37:20	
2008/12/25 20:57:55	
2008/12/25 16:39:28	
2008/12/25 12:56:35	
2008/12/22 19:00:09	
2008/12/20 15:15:25	
2008/12/18 17:13:39	
2008/12/13 13:27:40	

通信履歴一覧画面
機能メニュー▶P.141

2 通信履歴項目を選択

機能 通信履歴一覧画面 (P.141)

1件削除、選択削除、全削除……いずれかの削除方法を選択します。

●メールをお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されているiモードメールやSMSをお預かりセンターに保存します。

- サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとする時、その旨をお知らせする画面が表示されます。

1 メール一覧画面 (P.164、166) ▶ 【機能】 ▶ 「お預りセンターに保存」 ▶ で (チェックボックス) を選択 ▶ 【完了】

メールは最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」

お預かりセンターに接続してメールの保存を開始します。

3 【完了】

おしらせ

- FOMAカードに保存されているSMSはお預かりセンターに保存できません。
- iモードメールに添付されているファイルは削除して保存されます。

おしらせ

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像が受信メールに挿入されている場合は、削除して保存されます。
- 「色分け」の設定は保存されません。
- 題名や本文に、日本語フォントに置き換えできない中国語文字を含むメールは、お預かりセンターに保存できません。

■メールを復元する

お預かりセンターに預けているメールデータは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)]をご覧ください。

●画像をお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されている画像などをお預かりセンターに保存します。

- サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとする時、その旨をお知らせする画面が表示されます。

1 画像一覧画面 (P.316) ▶ 【機能】 ▶ 「お預りセンターに保存」 ▶ で画像を選択 ▶ 【完了】

画像は最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」

お預かりセンターに接続して画像の保存を開始します。

3 【完了】

おしらせ

- 1件あたりのファイル容量が100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、お買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャやデコメ®絵文字は保存できません。

■画像を復元する

お預かりセンターに預けている画像データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)]をご覧ください。

● トルカ、スケジュールをお預かりセンターに保存（更新／復元）する

- i モードサービスエリア圏外・電源OFF時などでは利用できません。
- 自動でトルカ、スケジュールをお預かりセンターに保存→P.209

① i コンシェル画面 (P.207) ▶ [MENU] ▶ を選択

② 「お預かりデータ更新」▶ 各項目を選択

③ [完了] ▶ 端末暗証番号を入力

おしらせ

- トルカおよびスケジュールの機能メニューからお預かりセンターにデータを保存できます。
→P.297、373
- FOMA 端末のトルカ、スケジュールを削除したときに自動更新を行うと、お預かりセンターのトルカ、スケジュールも同様に削除されますので、ご注意ください。
- FOMA 端末（本体）に保存されているトルカ、スケジュールをドコモのお預かりセンターに保存します。保存したトルカ、スケジュールはお預かりセンターに接続することによって、FOMA 端末に更新／復元できます。
- i コンシェルは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとする、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- i コンシェルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（i モード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

● お預かりセンターとの通信履歴を確認する

- 通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 通信履歴詳細画面では、通信結果、日付、通信内容、通信データサイズ、付加情報追加件数、お預かりセンターへの送信結果、携帯電話の受信結果、お預かりセンターへ残件数が表示されます。

① i コンシェル画面 (P.207) ▶ [MENU] ▶ を選択

② 「お預かり通信履歴」を選択 「通信履歴一覧画面」が表示されます。

③ 通信履歴項目を選択

各種機能の設定を初期状態に戻す （設定リセット）

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。
間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。→P.143

- 設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー機能一覧」(P.440)をご覧ください。
- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げ時の設定内容に戻りません。

① ▶ 「設定／サービス」▶ 「その他設定」▶ 「設定リセット」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」

■ 顔認証が有効に設定されている場合

- ▶ 正面を向いて顔全体が画面に写るように合わせる

おしらせ

- 「3G／GSM切替」は、ネットワークの状態によりお買い上げ時の設定内容に戻らない場合があります。

FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻す

(端末初期化)

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、i アプリ、PDFデータ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画、各種履歴や情報など、お客様の大切なデータ、履歴、情報がすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。ただし、マイピクチャや i モーションの「INBOX」に保存されているサンプルデータは削除されます。
- FOMAカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータは削除されません。
- ネットワークに接続して設定する項目は初期化されません。
- お買い上げ時に登録されている i アプリやウィジェットアプリ、およびマイピクチャや i モーションの「INBOX」に保存されているサンプルデータを削除した場合、端末初期化を行っても元に戻りません。
- 以下の場合、i アプリは端末初期化を行うと削除されます。
 - お買い上げ時に登録されている i アプリをバージョンアップした場合
 - お買い上げ時に登録されている i アプリを一度削除して再度ダウンロードした場合
- 2in1のモードにかかわらず、Aモード・Bモードのすべてのデータが初期化されます。
- お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げ時の状態に戻ります。
- シークレットデータ、シークレットフォルダのデータも削除されます。
- 「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話、テレビ電話、ブッシュトークの着信やメールの受信などもできません。

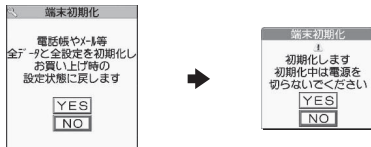
- 「端末初期化」を行うと、FOMA端末はお買い上げ時の状態に戻ります。
FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、ドコモケータイdatalink (P.437) やmicroSDカードを利用して保管することをおすすめします。

1 MENU ▶ 「設定／サービス」▶ 「その他設定」▶ 「端末初期化」▶ 端末暗証番号を入力

■顔認証が有効に設定されている場合

▶正面を向いて顔全体が画面に写るように合わせる

2 [YES] ▶ [YES]






端末の初期化が開始されます。
初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。
端末の初期化が終了すると、自動的に再起動した後、ソフトウェア更新についての説明が表示されます。

■端末初期化が正常に終了しなかった場合

▶電源が入った後に「OK」
再度初期化が実行されます。

おしらせ

- 端末初期化を行った場合、i チャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- パソコンを用いるデータ通信に関する設定は初期化されません。
- おサイフケータイ対応 i アプリとICカード内のデータは削除されません。
- 端末初期化を行うと、「Welcome  デコメアニメ 」のWelcomeメールと「緊急速報「エリアメール」のご案内」のメールが受信BOXに保存された状態になります。

遠隔操作でデータを初期化する

(遠隔初期化)

本機能の利用契約をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体/microSDカード/FOMAカード(UIM)内のメモリ)を初期化することができるサービスです。

お問い合わせ先

ドコモの法人向けサイト

docomo Business Online

パソコンから <http://www.docomo.biz>

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能/サービスがありますのでご活用ください。

機能/サービス名称	目的	参照ページ
ICカードロック設定	ICカード機能の不正使用を防止したい	P.294
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	P.415
番号通知お申し込みサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	P.415
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※ FirstPass対応サイトに限ります。	P.201
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	P.481
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	P.487
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	P.158
「iモード災害用伝言板」サービス	「ご利用ガイドブック (iモード<FOMA>編)」をご覧ください。	
メールアドレス変更		

機能/サービス名称	目的	参照ページ
迷惑メール対策 • URL付きメール拒否設定 • 受信/拒否設定 • かんたんメール設定 • iモードメール大量送信者からのメール受信制限 • SMS拒否設定 • 未承諾広告※メール拒否 • メール設定確認	「ご利用ガイドブック (iモード<FOMA>編)」をご覧ください。	
メール機能停止/再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

おしらせ

●見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしておかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

<迷惑電話防止機能の優先順位>

●迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
①迷惑電話ストップサービス
②登録外着信拒否または呼出時間表示設定/非通知着信設定/指定着信拒否